

| | | | | | |
|-------|--------|-------|-------|-------|-----|
| グループ名 | ユニット名等 | 科 目 名 | 担当教員名 | 対象学年次 | 学 期 |
| 選択科目 | 2単位 | 経済政策論 | 永田長生 | 2年次 | 秋 |

| | |
|--------------------------|--|
| 授業のキーワード | 経済問題、経済政策の目標、様々な経済政策 |
| 授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能 | この授業では、なぜ経済政策が必要になるのか、そして、経済政策の手段および目標とは何かといった基礎論を踏まえたうえで、経済政策論の入門的内容を講義します。適宜、実際の経済問題の事例を紹介しながら、経済問題についての関心を深めてもらうと同時に、経済政策の理論と実際を理解してもらうことを目的とします。 |
| 履修のアドバイス・ 前提科目等 | 経済原論 I および II, 中級ミクロ経済学および中級マクロ経済学を履修済みであり、その基本的な内容を理解していることが望まれます。 |

授業展開

| | テーマ | 内 容 | | テーマ | 内 容 |
|---------------------|------------|--|--------------------------------------|--------|--|
| 第1講 | イントロダクション | 授業の概要を説明し、あわせて、なぜ経済政策が必要となるのかを説明します。 | 第9講 | 財政政策 2 | 第8講の続きです。 |
| 第2講 | 経済政策の目標と手段 | 経済政策の目標にはどのようなものがあり、どのような手段が考えられるのかを説明します。政府の役割についても言及します。 | 第10講 | 金融政策 1 | インフレターゲット論などの物価の安定にかかわる金融政策や、経済政策におけるルールと裁量といったトピックを解説します。 |
| 第3講 | 産業政策 1 | 独占や寡占から生じる非効率性の問題と、その問題への対処としての産業政策について解説します。 | 第11講 | 金融政策 2 | 第10講の続きです。 |
| 第4講 | 産業政策 2 | 外部経済から生じる非効率性の問題と、その問題への対処としての産業政策について解説します。 | 第12講 | 成長政策 1 | 発展途上国の開発政策や、環境問題に配慮した持続可能な成長のための政策といったトピックを解説します。 |
| 第5講 | 所得分配政策 1 | 分配問題と社会的選択などのトピックを解説します。 | 第13講 | 成長政策 2 | 第12講の続きです。 |
| 第6講 | 所得分配政策 2 | 第5講の続きです。 | 第14講 | 総括 | この授業で解説した内容の総括を行います。 |
| 第7講 | 所得分配政策 3 | 第5講と第6講の内容をもとに、所得分配政策の性質やそのあり方について解説します。 | 第15講 | 期末試験 | 試験の実施形態と出題形式については、第1回の講義の際に説明します。 |
| 第8講 | 財政政策 1 | 政府支出の生産力効果や、公債負担の問題など、財政政策にかかわるトピックを解説します。 | 評 価 方 法 | | 出席・平常点と期末試験の点数をもとに評価します。その比率は履修者数によって決定することにします。 |
| 備 考 (関連する資格・試験等) | | 4年制大学への編入を考えている学生は、この授業を履修するとよいでしょう。 | | | |
| 使用する教科書（必ず購入してください） | | | 参 考 文 献 | | |
| | | | 岩田規久男・飯田泰之『ゼミナール経済政策入門』日本経済新聞社、2006年 | | |